



福田 愛



花城 直子

いながわ 特派員報告

NEW 学問のすすめ タブレット学習



町立小・中学校の全児童・生徒が1人1台のタブレットを使用しているのが、小学校の先生であり現在は教育委員会で情報教育を担当しておられる金山先生にお話を伺ってきました。

▶問合せ 学校教育課 (☎ 766 - 6006)

タブレット学習の特徴は？

タブレット学習では「共有」の機能を大いに活用していきたいと考えています。これは個々のタブレット画面で、全員が同じ資料を見たり、同時に1つの資料に書き込みをすることが出来る機能です。先生は専用のタブレットで子どもたちの画面を見る事ができるので、つまづきにいち早く気付いたり、書き込まれた意見を把握することが出来ます。今まで発表するのが苦手だった子どもでも、タブレッ

トに書き込むことで先生やクラスみんなに意見を発信することができ、自信をつけるきっかけになると考えています。授業の理解度を上げたり、子どもたちの興味や意欲を引き出したりと、一人ひとりの個性に合わせた教育の実現に向けて活用していきたいと思っています。その他にも、オンライン学習ソフトや先生が作成した問題にも取り組めます。その場で自動で答え合わせができるので「間違えたまま」ではなく、すぐに復習することが出来ます。

タブレットで どんなことができるの？



対話的学習

(周りの意見が見える)



主体的学習

(自分からの発信)



ドリル学習

(自動丸付け機能)



データ管理

(学習状況の把握など)

他にも…

- ◆検索機能を利用した調べ学習
- ◆付属のキーボードを使ったタイピング練習

大切なことはなんですか？

タブレット学習にはさまざまなメリットがありますが、あくまでも「学習道具」のひとつであることと理解したうえで使っていくことが大切だと考えています。機械を操作するだけでなく、文字を書くことの大事さもあわせて教えていきたいです。

そして、忘れてはいけないのが人との関わりです。今の時代はインターネットだけでもコミュニケーションはとれますが、画面を



子どもたちはタブレット学習に興味津々です！

タブレット学習の授業風景

導入のきっかけは？



学校教育課
かみやま たかし 指導主事
金山 貴志

タブレットのような情報機器は、私たちの生活のごく身近なものになってきています。その一方で日本の学校教育では、情報機器を活用する機会が少なくICT(情報通信技術)環境の整備が先進国の中では遅れをとっている状況です。このような状況を変えるため、文部科学省がネットワーク通信を利用した情報教育を進めるため「GIGAスクール構想」を打ち出しており、町でも来年度以降に一人一台のタブレットの導入を検討していました。しかし、新型コ

どのように使っていますか？

基本的には学校の授業で使うことを前提としていますが、臨時休校による学習の遅れを補うため、8月末までは自宅学習に活用していただけます。授業では操作方法はもちろん、インターネットを利用するためのルールやマナーなどもしっかりと指導していきます。

1人1台のタブレットの導入は、阪神間で1番最初なんだよ！



編集後記

インターネットでの勉強が身近になりつつある今だからこそ、1人1台のタブレット学習はとても意味があるように感じました。タブレットを使って、どんどん知識を広げ、未来につながる勉強をして欲しいと願うばかりです！

※撮影時の授業で使用しているタブレットは、個人貸与のタブレットではなく学校共有のタブレットです。